

菅原明朗

すがわら けいろう

作曲家。

明治二十年二月、千代田鹿島生れ、昭和六

十二年四月、千代田妓（二八九七―一九六八）。本名菅次郎。大正七年川端畫學

校卒。大田黒三雄、堀内敬二等を知り、音楽誌『音楽と文藝』同人と

なる。大正十五年オルケスタ・シンフォニカ・タケキニ代目指揮者、

昭和五年帝國音楽學校教授。七年作曲家永井荷風と知り合ひ、爾來親父。

十二年荷風臺本の歌劇「葛飾情話」を作曲。その後戰中戰後晩年まで

創作に當る。

譯著書、リムスキー・コルサコフ著『和聲學要義』（譯註、昭和八年

一月、二千一）白春陽堂教育圖書出版部）、コゼツークナーの生涯と藝

術』（合著・音楽世界社編、昭和八年六月、二千一）音楽世界社）等。